

報告事項1（周知・報告）

教員の働き方改革の取組みについて

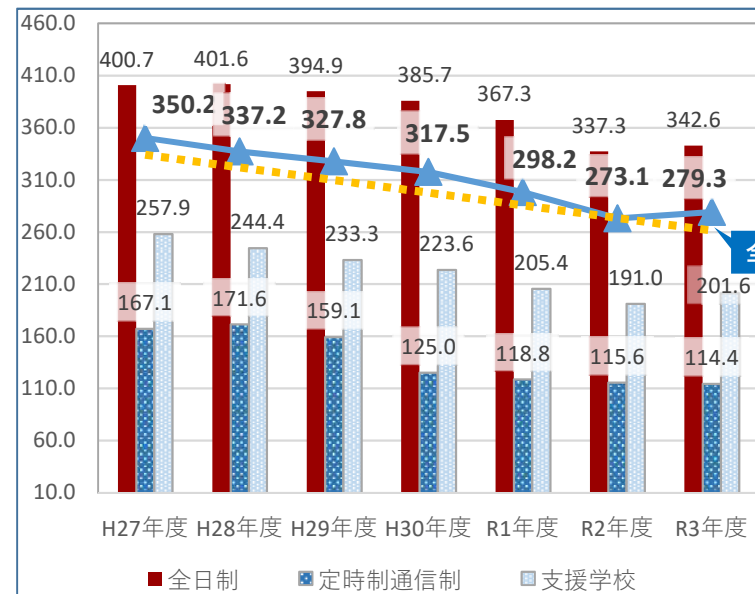
標記取組みについて、別紙のとおり報告する。

令和5年2月15日

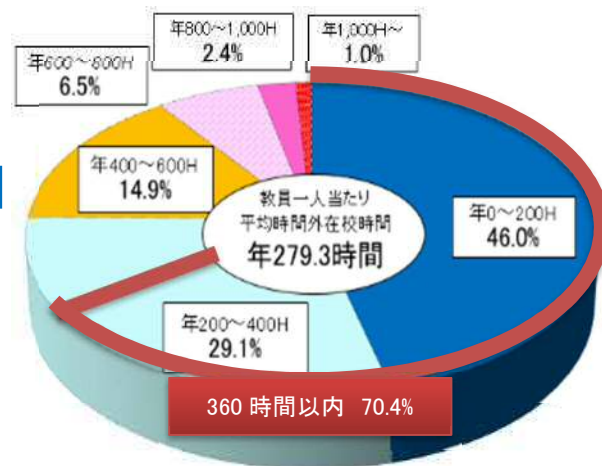
教員の働き方改革に関する取組み

1. 概況（府立学校における時間外在校時間の状況）

府立学校教員一人当たり年平均時間外在校時間(単位:時間)



R3年度一人当たり年間時間外在校時間の分布



<R3年度実績>

- ・全校の教員一人当たり年平均時間外在校時間 279.3H/年
- ・R3年度は、ピーク時のH27年度(350.2H/年)比▲20.2%
- ・R2年3月からの新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等による影響は一定程度考えられるものの、働き方改革の効果もあり教員の平均時間外在校時間の推移は減少傾向
- ・一方で、年間360時間を超える教員が、R3年度では、府立学校全体で約3割存在しており、その縮減が課題

2. これまでの主な取組み

■「府立学校における働き方改革に係る取組み」(H30.3)の着実な実施等

「府立学校における働き方改革に係る取組みについて」を策定(H30.3)

- スクールソーシャルワーカーの配置
ヤングケアラー対応等のため体制を強化し、スーパーバイザーを新設(R4～)
- 教頭等の業務負担軽減のためのスクールサポートスタッフ(非常勤補助員)の配置(H27～)
- 部活動指導員の活用(R2年度より本格実施)
実技指導、校外活動の引率等に従事(R1:府立27校27部⇒R2:33校49部⇒R3:57校80部⇒R4:61校99部)
- 「大阪府部活動の在り方に関する方針」の策定(H31.2)
(高校)学期中:週当たり平日1日、週末1日の休養日を基本。
1日の活動時間:平日2時間、休業日4時間程度。
- 学校閉庁日の実施(R1年度より本格実施)
夏季(8月10日～16日)と冬季(12月28日～1月4日)に連続3日以上設定
- 在宅勤務(テレワーク)の活用(R2年度より本格実施)
育児・介護がある場合を要件として実施(R1:10校⇒R2:20校に拡大)

■上限時間管理等

- 「府立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」等の制定(R2.3)
(時間外在校等時間の上限を制定:原則、月45時間、年360時間)
- 1ヶ月単位の変形労働時間制の適用範囲を拡大(R4.4)
- アラーム(時間外が30時間以上の教員等に対する注意喚起)の導入(R4.9)

3. 今後の取組み(府立学校)

■校務運営の効率化等

- 全ての学校において導入していくもの(R5.4～)
- グループウェアを活用した校務運営の効率化等

| No. | 項目 | 概要 |
|-----|----------------------|---|
| 1 | 会議資料ペーパーレス化、事前提出ルール化 | ・配付・受取時間、用紙の削減 |
| 2 | 連絡、資料配布・説明の電子化 | ・連絡の徹底、意見交換の促進、会議時間の大幅な短縮 |
| 3 | 職員間共有事項の電子掲示板化 | ・HRの連絡事項、職員会議の掲載により職員朝礼時間の大幅な短縮、印刷配付の削減 |
| 4 | 職員間の予定共有 | ・カレンダー機能等を用いたスケジュールの共有 |
| 5 | ICT機材の一括管理 | ・Web上でDVDやプロジェクター等の使用状況を共有することにより、利活用を促進 |
| 6 | 時間外の外線電話の受付中止 | ・業務時間外を留守番電話(不在メッセージ)対応 |
| 7 | 欠席連絡の効率化 | ・朝の欠席連絡等の電話対応をメール等対応に転換 ・連絡内容の一覧化による集約作業の効率化 |
| 8 | 生徒アンケートの電子化 | ・1人1台端末を活用することにより、配布・集計作業等を省略化 |
| 9 | 保護者への文書配布のデジタル化 | ・印刷、配付の削減 |
| 10 | 学校閉庁日の拡大 | ・夏季「連続5日以上」、冬季「連続6日以上」に拡大 |

[令和5年度当初予算(案)額]

| | | |
|---|---------------|------|
| ■ICTの活用(継続含む) | 1,496,034千円 | |
| ○府立学校入学者選抜・採点業務デジタル化事業費 | 99,329千円 | 【新規】 |
| ・デジタル採点の導入 | (29,326千円) | |
| 〔R5～定期考査等(中学・高校等)、入学者選抜(中学) R6～入学者選抜(高校等)〕 | | |
| ・入学者選抜におけるオンライン出願の導入(R5～中学、R6～高校等) | (70,003千円) | |
| ○府立学校教育ICT化推進事業費 | 1,341,925千円 | |
| ・システムのクラウド化や教員用端末の無線・軽量化など、 | (234,826千円) | |
| 校務におけるICT環境の充実(R6～(R5は基本設計等を実施)) | | |
| ・府立学校に展開しているネットワーク、システム等の運用 | (1,107,099千円) | |
| ○府立学校GIGAスクール運営支援センター運営費 | 54,780千円 | |
| ・1人1台端末の活用促進に向けた教職員支援 | | |
| ■外部(専門)人材の活用(継続含む) | 633,535千円 | |
| ○部活動指導員等の配置(部活動大阪モデル含む) | 134,222千円 | |
| ○スクールソーシャルワーカー、キャリアコーディネーターの配置 | 92,141千円 | |
| ○スクールカウンセラーの配置 | 62,730千円 | |
| ○学習支援スタッフの配置 | 187,285千円 | |
| ○スクールサポートスタッフの配置 | 157,157千円 | |